



# どの子も輝く街へ

## 小学校教師10年 35歳、はたらくお母さん

昨年まで小学校で特別支援学級の教師をしていました。個性的で多様な社会、一人一人が自分らしく生きられる社会を作りたい——これが私の原点です。小さな声を集め、市民とともに、「くらし、福祉、教育第一の市政」に変えるため全力をあげます。

町田市議予定候補 たなか・みほ



# 田中美穂

憲法9条守りぬきます

日本共産党



ご意見・ご要望をお寄せください ☎ 042-723-6312

障がい児の教育を通じ  
「社会を変えたい」と  
思いました。

思いました。

A circular portrait of Dr. Linda K. Johnson, a woman with short dark hair and glasses, smiling.

念願の教師となつて町田へ。  
特別支援学級で出会った  
個性豊かな子どもたち

卷之三

その後、特別支援学級で知的障害のある子どもたちの担任になり、「個性的で多様な子どもたち、一人ひとりに応じた授業を」と、熱心に取り組みました。国語の授業ではダンボールで大掛かりな「やどかり」を作り（上写真）、演技を取り入れることで、登場人物の気持ちを考えさせる工夫もしました。

「親子ともに支えられた」うれしい声も

**「平等一は下平等」吸う**

田中さんは、「日常の小さな出来事や成長も家庭と共有したい」と、毎日連絡帳を書いていました。親御さんたちからは「日々、悩んで書いては返事をもらうことで、親子ともに支えてもらいました」とうれしい声もありました。

# ■「平等とは不平等に扱うこと」

と考えるようになりました。

**日本共産党が市政へ挑戦を決意**

中学時代の恩師  
本田広行さんから

中学でのあなたの  
民主主義の実験。  
社会で生かす時が  
きたようですね

あなたは修学旅行実行委員会や卒業を祝う会など、全て場面で自分たちのことを自分たちで決めるということを実験的にやってきましたね。そのたびにあなたは自分の判断に基づき発言をしてきました。民主主義を実験的に作ってきたあなたが、いよいよそれを社会の中で生かす時がきたのかもしれません。あなたの公正な判断が新しいうねりを作ってくれることを信じています。



# 子育て世代の声を 市政に届けた池川さん その後継者として

子育て世代がつながることの大切さを実感

2011年に出産した田中さん。初めての子育ては苦労の連続です。そんな中、池川市議（当時）から「まちだ子育てネットワーク」に誘われました。「ママパパBBQ」「子ども服交換会」などで楽しみながら、悩みも出し合える子育て仲間とともに、放射能・平和・防犯・予防接種など、様々なテーマで学ぶとりくみも進めています。

「保育料の値上げは許せない」とママ友たちと立ち上がる

熱心に署名集めた  
みほちゃん

——ママ友 萩原真里さん

みほちゃんは私より2歳年下ですが、子どもへの接し方がいつもおだやかで優しくて、私はとても尊敬しています。みほちゃんは、認可保育園の保育料値上げのときに、だれよりも熱心に署名を集めていました。子育て世代の代表として大活躍してもらい、中学校給食を必ず実現したいです。

2013年、市の保育料の値上げが問題になりました。特に所得が低い世帯ほど値上げ率が大きいやり方に「子育て世帯に負担をかければ、家計が苦しくなって、結局、しわ寄せは子どもにくるよね」と話し合い、ママ友たちとともに保育園前などで値上げストップ署名に取り組みました。

## 池川さんと共産党のすぐさ

子育て世代の声を市議会にどんどん伝えてくれるのが池川さんでした。池川さんは、他にも市民病院の小児科の医師不足問題、保育所整備や学校のトイレの改修など、子育て世代の願いを次々と市政に届け、実現してゆきました。そうした池川さんのとりくみを間近で見ていた田中さん。



田中さんは、一人ひとりの個性が發揮され、多様性を認め合うことができる社会をつくりたいという信念を持った人です。私の後継者として、市政で働くことができるようみなさまのご支援をお願いするとともに、私自身も全力で奮闘する決意です。



## 鶴川の代表としてぜひ市政に

# 池川友一

日本共産党

都議会議員

田中さんは、一人ひとりの個性が發揮され、多様性を認め合うことができる社会をつくりたいという信念を持った人です。私の後継者として、市政で働くことができるようみなさまのご支援をお願いするとともに、私自身も全力で奮闘する決意です。

35歳、はたらくお母さん 田中美穂(たなかみほ)



**中学生にも、小学生と同じように、あたたかい給食を**



学校給食は、栄養バランスはもとより、「食育」としても大事。同じ教材で学ぶ国語や算数のように、共通の食事を通して、食材、季節、農家の努力などを学ぶ機会になります。田中さんは、中学校全員給食をめざします。

23区では100%、多摩地域でも26市中20市で実施され、お隣の八王子市でも始まります。

田中さんも夫婦共働き。「保育園に入れない」ことがいかに大変

か、よくわかります。市民の運動で増設が進みました。まだまだ足りません。

## 認可保育園増やし、待機児ゼロへ

田中さんも夫婦共働き。「保育園に入れない」ことがいかに大変か、よくわかります。市民の運動で増設が進みました。まだまだ足りません。

### 学童保育の育成料 値上げは困ります

「働いている意味なくなっちゃう」との声も寄せられました。「子育て世代をがっかりさせるのではなく、応援してくれているという実感がもてる町田」と訴えています。

## 年金で入れる特養ホームを

「年金で入れる特養ホームが少ない」——町田市は、特養ホームの増設を進めてきましたが、まだ不足しています。特に、国民年金で入れる特養ホームが切実に求められています。田中さんはこの願いにこたえてがんばりたいと決意を語っています。



人の話をよく聞いてくれる、美穂ちゃん

—学生時代の友人 坂本麻衣子さん

美穂ちゃんと言えばなんと言っても「人の話をよく聞いてくれる」人です。優しくそれでいて度胸もあるし、芯がある美穂ちゃん。きっと市民の話をよく聞いて、市政に届けてくれると期待します。



**鶴川のみなさんの  
願い実現へ  
力をあわせます**  
**日本共産党 田中美穂**

- シルバーパスの改善 料金引き下げ 都県境こす使用
- 鶴川図書館の現在地存続を
- 鶴川駅にエスカレーター、ホームドア設置を
- 鶴川駅の南側に交通広場を

田中美穂

(たなか・みほ)の「私が市政でしたいこと」

# 生まれは福島、本が好き

ー田中美穂のおいたち

校則なし、チャイムなし、制服は選挙で  
ー自由な町の中学校

田中さんは、自動車整備工のお父さんと障がい児・者の入所施設で働くお母さんのもとで育ちました。中学校は、生徒の自由を尊重し、校舎もユニーク。のびのび育ちました。

## 図書館司書めざし東京学芸大へ

「読書好きで運動が苦手」と語る田中さん。「ヒヤエル・エンゲ」の「モモ」は愛読書です。本好きが高じて、図書館司書になりたいと学芸大へ。大学で教育問題を学ぶ中、教師への意欲がわきました。

## 原発事故で実家が除染対象に 子連れで官邸前行動にも

福島第一原発事故で、実家の庭も除染対象になりました。その時妊娠中だった田中さん。里帰り出産もあきらめました。昔から「福島の原発は絶対に安全だ」と教わり、思い込んでいたことにショックをうけました。原発はや口にしないとだめだと、子連れで首相官邸前行動にも何度も行きました。

### 日本共産党

#### 田中美穂プロフィール

1982年、福島県三春町生まれ。2005年東京学芸大学卒。障がい児の放課後クラブ臨時職員。2007年から小学校教員。三輪町在住。家族は夫と娘、趣味はキャンプ、消しゴムはんこ、読み聞かせ。

田中美穂の活動地域:鶴川団地、鶴川1~6丁目、真光寺町、真光寺1~3丁目、広袴町、広袴1~4丁目、野津田町、小野路町、金井1~8丁目、薬師台1~3丁目、大蔵町、能ヶ谷1~7丁目、三輪町、三輪緑山1~4丁目、金井町(藤の台団地除く)、山崎町(山崎団地除く、ダリア園から東側)、図師町(ブロードヒルズ町田)

